

基本計画 第2章

重点戦略

重点戦略1 子どもを育む環境づくり

重点戦略2 活気あふれる産業づくり

重点戦略3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり

重点戦略4 安心・安全で快適なまちづくり

人口減少社会においては、少子化と高齢化の進行に伴って、様々な課題が生じるため、重点戦略では、人口減少社会への対応として効果が高い取組を取りまとめます。

少子化の進行を緩和するためには、希望する人数の子どもを持つことができるよう、家計における経済的不安や男性の労働時間過多による家事・育児時間の不足を解消する必要があり、産業分野の競争力と生産性の向上により、子育て世代の家計の安定と家事・育児時間の確保につなげます。

高齢化が進行する中では福祉施策を充実する必要があり、地域経済の活性化による安定した財源が必要です。また、高齢者が培ってきた知識・技能を産業や地域で発揮することで、労働力や担い手の確保につながります。

このため、「重点戦略1 子どもを育む環境づくり」、「重点戦略2 活気あふれる産業づくり」、「重点戦略3 高齢者の想いに寄り添う環境づくり」は、それぞれ強い関連があることを認識した上で推進します。

なお、「重点戦略4 安心・安全で快適なまちづくり」は、重点戦略1、2、3の効果をより確かなものとするため、防災・減災対策を強化するとともに、住みやすく便利な生活圏の形成と暮らしを支えるネットワークの充実に取り組み、人口減少に地域社会を適応させていく戦略として推進します。

重点戦略 I

子どもを育む環境づくり

◆基本的な方向性

- 結婚・妊娠・出産を希望する人が、その願いを実現できるように必要な環境を整えるとともに、子育てを一人で抱え込むことがないように共働き・共育て等を支援します。また、子どもが自ら考え、将来を選択し、心身ともに健やかに成長できる環境を整えます。

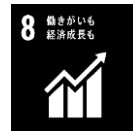
◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
保育所等の待機児童数	6人	0人	0人
育児・子育ては、夫婦同じくらい 分担していると回答した割合★1	17.9%	20.0%	25.0%
将来の夢や、やりたいことがある と答えた児童・生徒の割合 (小・中学校)	小学校 79.9% 中学校 66.3%	小学校 81.0% 中学校 67.0%	小学校 83.0% 中学校 68.0%

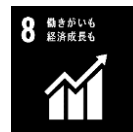
★1 未就学児を育てている夫婦世帯を対象とする。

◆SDGsの目標との関連

(1) 希望する結婚・
妊娠・出産が
かなう



(2) 子育てにゆとり
が持てる



(3) 子どもが希望を
持って成長する



(1) 希望する結婚・妊娠・出産がかなう

◆基本的な方向性

- 若い世代が将来の生活を見通すことができるよう支援を行うとともに、年齢・身体的、経済的な理由等によって、結婚・妊娠・出産を諦めることがないよう、必要な環境を整えます。

◆主な取組

- 若い世代への奨学金返済支援
- 将来の妊娠に必要な情報の提供や支援
- 良質な就労環境による家計の安定
- 必要な技術や資格取得に向けた支援
- 働きながら子育てができる環境づくり
- 保育所等における ICT^{※1}の活用

※1 インターネットなどを活用してコミュニケーションができる情報通信技術のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
保育所等申込者に対する受入可能人数の割合	97.0%	100%	100%
正規雇用促進補助件数【累計】	229件	429件	589件

(2) 子育てにゆとりが持てる

◆基本的な方向性

- 子育てを一人で抱え込むことがないように、共働き・共育等々を支援します。男性の家事・育児に充てる時間を増やすとともに、社会や地域で支援する仕組みの整備や社会風土を醸成します。

◆主な取組

- 男性の育児休業取得のための総合支援策の推進
- 産後の不安に寄り添う支援
- 柔軟な働き方による子育て時間の確保
- 地域子育て支援拠点の充実と利用促進
- 子育て世代を支援する企業等の紹介と拡大

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
母親父親教室への男性の参加者数	138人	168人	180人
地域子育て支援拠点の1日当たりの総利用人数★ ¹	131人	140人	150人
子育て支援に取り組む企業の紹介回数【累計】	—	25件	45件

★¹ 子育て支援センター、つどいの広場の利用人数のこと。

(3) 子どもが希望を持って成長する

◆基本的な方向性

- 子どもの確かな学力※¹と豊かで健やかな心身を育成します。また、多様化・複雑化した困難さを抱える一人一人の子どもに寄り添い、教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて教育機会を確保します。

※¹ 知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性などのこと。

◆主な取組

- 子どもの可能性を引き出す個別最適で協働的な学びの充実
- 悩みや課題を抱える子どもに寄り添う相談・支援体制の強化
- 進学を希望する生徒への経済的支援
- 児童・生徒の社会参画意識の醸成
- ICT※¹を活用した多様な子どもたちに寄り添った学びの保障

※¹ インターネットなどを活用してコミュニケーションができる情報通信技術のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
話し合う活動で考えを深め、広げられている児童・生徒の割合★ ¹ (小・中学校)	小学校 78.5% 中学校 74.1%	小学校 81.0% 中学校 77.0%	小学校 83.5% 中学校 80.0%
相談できる大人がいる児童・生徒の割合★ ² (小・中学校)	小学校 64.2% 中学校 62.4%	小学校 66.5% 中学校 64.5%	小学校 70.0% 中学校 68.0%

★¹ 全国学力・学習状況調査において「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した割合のこと。

★² 全国学力・学習状況調査において「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答した割合のこと。

重点戦略2

活気あふれる産業づくり

◆基本的な方向性

●産業の持続可能性の向上と基盤産業^{※1}の集積に向けた投資の促進、技術開発や研究開発拠点化を推進します。また、企業の人材育成に向けたリスキング^{※2}や、それぞれのライフスタイルに合った働き方の実現を目指した労働環境の整備を促進します。さらに、創業の支援体制を構築するとともに、中小企業の課題の解決を支援します。

※1 需要者の多くが地域外にあり、域外からお金を稼いでくる産業のこと。

※2 技術革新やビジネスモデルの変化に対応・適応するために必要なスキルを習得する、させること。

◆数値目標

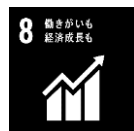
指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
知的対流 ^{★1} を通じた交流人数 【累計】	446人	1,046人	1,526人
新規就農者数【累計】	8人	48人	80人
労働環境整備による働き方改革 関連奨励金助成件数【累計】	-	20件	40件
創業者数 ^{★2} 【累計】	259人	509人	709人
入込観光客数	635万人	695万人	726万人

★1 共同研究・協働・人材育成等のこと。

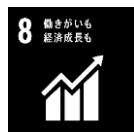
★2 創業支援計画に基づく支援を受けた創業者の数のこと。

◆SDGsの目標との関連

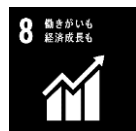
(1) 技術力・競争力を向上する



(2) 担い手の育成・確保を支援する



(3) 経済環境の変化に適応する



(1) 技術力・競争力を向上する

◆基本的な方向性

- 産業の持続可能性の向上と基盤産業の集積に向けた投資を促進するとともに、デジタル化や脱炭素化などの新市場への参入が期待できる技術開発や実証プロジェクトなどを誘致し、研究開発拠点化や製品化を推進します。

◆主な取組

- 施設・設備の整備に対する支援
- あらゆる産業のスマート※1化への支援
- 産業間や、企業・大学・行政の連携の強化
- 脱炭素に向けた技術開発への支援

※1 情報通信技術などを活用して、生産性の向上や業務の効率化がなされた状態のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
産学共同研究関連支援件数【累計】	8件	23件	35件
企業立地・増改築助成件数【累計】	39件	65件	85件
中小企業における二酸化炭素排出削減量★1【累計】	117トンCO ₂	600トンCO ₂	1,000トンCO ₂

★1 脱炭素設備投資補助金など市の支援によるもの。

(2) 担い手の育成・確保を支援する

◆基本的な方向性

- 人材育成・確保に向けた取組を進めるとともに、それぞれのライフスタイルに合った働き方を促進します。

◆主な取組

- 様々な就労機会の創出支援
- 新たな担い手の確保への支援
- 働き方改革^{※1}に取り組む中小企業への支援
- リスクリング^{※2}の促進

※1 働く人が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で選択できるようにするための改革のこと。

※2 技術革新やビジネスモデルの変化に対応・適応するために必要なスキルを習得する、させること。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
ワンストップ窓口の就農相談件数【累計】	28 件	168 件	280 件
労働環境整備のための専門家派遣件数【累計】	-	40 件	80 件
合同就職面接会に参加した市内企業数【累計】	98 社	223 社	323 社
合同就職面接会等参加者数【累計】	396 人	821 人	1,161 人

(3) 経済環境の変化に適応する

◆基本的な方向性

- 誰もが創業などの新しいことにチャレンジする機運を醸成するとともに、実現に向けて支援します。また、中小企業の課題の解決を支援しつつ、円滑な事業の拡大や承継などを促進します。

◆主な取組

- 円滑な創業・事業承継^{※1}の促進
- 産業の活性化に向けたデジタル技術の活用
- 中小企業の相談対応や、課題解決の支援

※1 経営者が自身の会社や事業を後継者等に引き継ぐこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
創業支援件数【累計】	886件	1,786件	2,506件
中小企業の相談受付件数 ^{★1} 【累計】	2,831件	13,681件	22,361件

★1 関係支援団体を含めた相談受付件数のこと。

重点戦略3

高齢者の想いに寄り添う環境づくり

◆基本的な方向性

- 健康寿命を延ばす取組を推進するとともに、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるよう、様々な主体が協力して支える体制を強化します。また、自分らしい生き方を実現できるよう、積み重ねた知識や経験を活かす機会の創出や、一人一人の権利を守る取組を推進します。

◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
健康寿命（平均自立期間）★ ¹ （男性）・（女性）	80.0年・84.4年	策定時実績値以上	策定時実績値以上
地域協議体★ ² の開催回数	47回	57回	67回
後見サポーター★ ³ 採用者数【累計】	39人	50人	50人

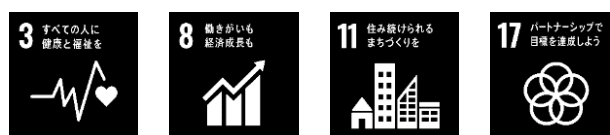
- ★1 国保データベースシステムにおいて、要介護2以上を健康ではない状態、それ以外を健康である状態とみなし、0歳からの健康である期間の平均を算出したもの。
- ★2 地域の高齢者の介護予防、生活支援に関する課題について共有し解決を図る会議体のこと。
- ★3 市民後見人養成講座を修了し、平塚市社会福祉協議会の法人後見事業における後見支援員として登録している人のこと。

◆SDGsの目標との関連

(1) 健康で元気に 活躍する



(2) 住み慣れた地域の暮らしを支援する



(3) 権利擁護を推進する



(1) 健康で元気に活躍する

◆基本的な方向性

- 健康意識を高め、自らの健康について考え、取り組む機会を提供します。また、それぞれの希望に合った活躍の場、機会を創出します。

◆主な取組

- フレイル^{※1}に早めに気付くための機会の確保
- 高齢者の多様な就業機会の確保
- ICT^{※2}スキルを活かせる生きがい就労の支援
- 知識、経験を活かす機会の創出
- 趣味や学びなどを通じた交流機会の創出

※1 加齢に伴い心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態のこと。

※2 インターネットなどを活用してコミュニケーションができる情報通信技術のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
フレイルチェック参加者数【累計】	505人	3,030人	5,050人
生きがい事業団新規入会者数【累計】	—	750人	1,450人

(2) 住み慣れた地域の暮らしを支援する

◆基本的な方向性

- 医療と介護の連携強化と、身近な地域資源を活用して、生活課題の解決につなげます。
また、介護人材の安定的な確保に向けて取り組みます。

◆主な取組

- 医療・介護関係者間における情報共有の支援
- 地域住民への医療・介護に関する情報の提供
- 介護人材の確保に向けた支援やスマート介護^{※1}の推進
- 認知症の早期発見・早期対応
- 地域包括支援センター^{※2}の機能強化
- 地域医療福祉拠点の整備

※1 介護ロボットや介護記録で使うタブレット端末などの情報通信技術を活用し、介護現場の生産性向上に資する介護のこと。

※2 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員と、認知症地域支援推進員を配置して、地域住民や各種団体、医療機関、介護サービス事業者等と連携し、高齢者を包括的に支援することを目的とする施設のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
医療・介護多職種連携研修会の実施回数	8回	9回	10回
認知症サポーター養成者数【累計】	27,309人	34,600人	42,000人
高齢者見守り協定の締結団体数【累計】	17団体	20団体	23団体

(3) 権利擁護を推進する

◆基本的な方向性

- 本人の意思による選択を尊重するとともに、命や権利、財産を守り、自立した生活を送れるよう支援します。

◆主な取組

- 成年後見制度^{※1}の普及啓発と利用促進
- 高齢者虐待の防止
- 自分らしい人生の締めくくりに向けた支援
- 孤立しないための見守り支援

※1 認知症、知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が十分でない人の権利を守る制度で、家庭裁判所に選ばれた成年後見人等が本人の意思決定を支援し、身上保護や財産の管理をすること。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
成年後見制度出張講座等参加者数 【累計】	4,800人	7,300人	7,800人
高齢者虐待防止に関する研修の実施回数	60回	70回	80回
終活 ^{★1} 講座の実施回数	34回	42回	50回
ひとり暮らし高齢者調査 ^{★2} の実施回数【累計】	—	4回	8回

★1 自分らしい人生の締めくくりを迎えるための活動のこと。

★2 一定年齢以上の単身世帯高齢者の見守りを強化するために実施する訪問調査のこと。

重点戦略4

安心・安全で快適なまちづくり

◆基本的な方向性

- 災害に対して強くしなやかに対応するため、ハードとソフトの両面から防災・減災対策を強化します。また、便利で暮らしやすい環境をつくるため、都市機能の集積による生活拠点の形成を進めるとともに、誰もが安全かつ快適に移動できる交通環境の充実や様々な課題解決が実現できる体制整備に取り組みます。

◆数値目標

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
防災訓練の参加割合	6.5%	6.8%	7.0%
都市機能を維持・誘導する区域★ ¹ 内の施設数	—	計画策定時以上	計画策定時以上
路線バスの乗り継ぎ環境の整備 箇所数【累計】	13箇所	17箇所	17箇所
重層的支援体制★ ² における支援 等に参画した団体等の数【累計】	6者	14者	22者

★1 2024年度策定予定の平塚市立地適正化計画において、医療や商業などの誘導施設を維持・誘導し、効率的なサービスの提供を図る都市機能誘導区域のこと。

★2 包括的な支援体制の構築に向けて、子ども・子育て、障がい、高齢、生活困窮といった分野別の支援体制だけでは対応しきれないような、複雑化・複合化した支援ニーズや制度の狭間となる課題などに対応していく支援体制のこと。

◆SDGsの目標との関連

(1) 防災・減災対策 を強化する



(2) 生活拠点づくり を推進する



(3) 暮らしを支える ネットワークを 充実する



(1) 防災・減災対策を強化する

◆基本的な方向性

- 地域防災力の向上を推進するとともに、防災知識・意識の向上を促進します。また、災害による被害を最小限に抑え、迅速に復旧するための取組を強化するとともに、インフラ^{※1}の強化を推進します。

※1 下水道や道路など産業や生活の基盤として整備される施設のこと。

◆主な取組

- 防災教育の推進
- 避難体制の確保に向けた支援
- 橋りょうや下水道における耐震化の推進
- 流域治水^{※1}をはじめとする総合的な浸水対策
- デジタル技術を活用した避難所運営
- 道路や下水道の維持管理などにおけるデジタル技術の活用

※1 水害の激甚化・頻発化に備え、国・県・市町村や企業、住民など、河川流域に関わる関係者が協働して流域全体で行う治水対策のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
要配慮者利用施設 ^{★1} における避難確保計画の作成割合	71%	80%	90%
橋りょうの耐震化 ^{★2} 進捗率	33%	46%	53%
公共下水道管路の耐震化進捗率	1%	21%	62%
公共下水道ポンプ場の耐水化進捗率	—	75%	100%

★1 社会福祉施設、学校、医療施設など、主として防災上の配慮を要する人が利用する施設のこと。

★2 平塚市橋りょう耐震化計画に基づく橋脚補強や落橋防止による耐震化のこと。

(2) 生活拠点づくりを推進する

◆基本的な方向性

- 生活利便施設^{※1}の誘導や既存ストックの活用によって、各生活圏へ機能集積を促すとともに、各拠点における魅力向上を図るほか、西部地域では地域資源の活用を推進します。

※1 医療・商業施設など日常生活に必要な施設のこと。

◆主な取組

- 地域特性を踏まえた生活利便施設の誘導
- 平塚駅周辺地区における多機能化の促進
- 魅力ある店舗づくりや商店街づくりの支援
- 環境保全活動や農を活かした取組への支援

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
平塚駅周辺における共同建て替えの相談件数【累計】	—	4件	8件
魅力化実施店舗 ^{★1} 数【累計】	70店舗	95店舗	115店舗
市民主体のまちづくりに向けた意見交換 ^{★2} の実施回数	9回	14回	14回

★1 来店者が楽しく買い物できるよう店舗改修やオリジナルの商品開発、ものづくり体験など魅力的なサービスの提供等を実施していく店舗のこと。

★2 郊外部における地区まちづくり協議会や自治会との意見交換等のこと。

(3) 暮らしを支えるネットワークを充実する

◆基本的な方向性

- 公共交通の利便性を向上するとともに、生活拠点の形成に合わせた交通結節点^{※1}の創出に加え、移動の快適性を向上します。また、複雑化・複合化した暮らしの課題に対応する仕組みを構築します。さらに、地域課題の解決に向けた支援を行います。

※1 異なる交通手段の接続が行われる場所であり、人や物の乗り換え等が行われる鉄道駅やバス停などのこと。

◆主な取組

- 持続可能な公共交通の確保
- 地域特性に合わせた移動手段の確保
- 重層的支援体制^{※1}の整備
- 地域課題の解決を図る機会の創出
- 公民館活動による地域連携強化
- 次世代モビリティ^{※2}の推進

※1 包括的な支援体制の構築に向けて、子ども・子育て、障がい、高齢、生活困窮といった分野別の支援体制だけでは対応しきれないような、複雑化・複合化した支援ニーズや制度の狭間となる課題などに対応していく支援体制のこと。

※2 超小型電気自動車や自動運転など先端技術を活用した移動手段のこと。

◆KPI（重要業績評価指標）

指標名	策定時実績値	目標値 (2027)	目標値 (2031)
自動運転バスの運行路線数【累計】	—	1路線	2路線
地域における協議の場 ^{★1} の数	8箇所	14箇所	16箇所

★1 様々な地域団体が集まり、地域の課題解決や更なる活性化について、検討し、連携を図る場のこと。

